

富士川町役場環境保全率先行動計画(第3期) 事務事業編(公共施設)

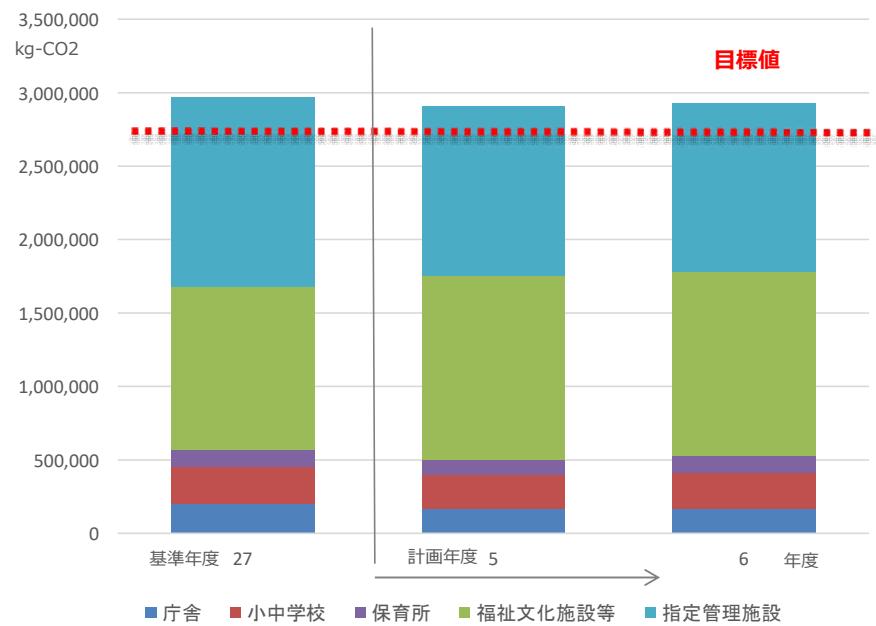
公共施設等の燃料等の使用実績における温室効果ガス(二酸化炭素CO2)総排出量の状況(平成27年度(基準年度)～令和6年度)

■温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の総排出量(年度別)

単位 : kg-CO2

項目	平成27年度		令和5年度		令和6年度		平成27年度 からの削減率
	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	
庁舎	198,443	100%	165,638	83%	171,512	86%	
小中学校	252,240	100%	236,695	94%	247,001	98%	
保育所	115,243	100%	98,130	85%	108,802	94%	-43,302
福祉文化施設等	1,117,050	100%	1,250,719	112%	1,256,651	112%	
指定管理施設	1,290,768	100%	1,158,270	90%	1,146,476	89%	-1.46%
合計	2,973,744	100%	2,909,452	98%	2,930,442	99%	
	基準年度		計画年度				→

温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の排出量(年度別)



【参考】

■令和6年度のCO2排出量は平成27年度に設定した基準年度の-8%という目標値に対して、達成することはできなかった。また、前年度と比較して全体のCO2排出量は微増している。しかし、基準年度である平成27年度からの全体のCO2増減率として電気及びLPG以外の項目については減少している。

■エネルギー使用量については、基準年度全体と比較してLPGを除き削減ができている。また、灯油、重油、ガソリン、軽油については昨年度と同様に20%以上の削減となっている。昨年度と令和6年度の電気使用量について約8万7千kw増加となっている。特に、庁舎と指定管理施設での使用量について昨年度と比べて大きく上昇している。地球温暖化により、冷暖房の使用する期間が増えたことによる電気使用量とLPG使用量が今後も増加していくことが予想されるため、使用していない場所や不必要な場所等の消灯を心がけ電気使用の削減に努めていく必要がある。